

第 95 回宮崎大学眼科研究会

日本眼科学会専門医制度生涯教育認定事業 (59046)

- ◆日 時：令和 7 年 1 月 18 日（土） 16:20～19:00
- ◆会 場：ニューウェルシティ宮崎 大会議場 霧島
〒880-0879 宮崎市宮崎駅東 1 丁目 2 番地 8 TEL：0985-23-3311
- ◆会 費：2,000 円

— 日本眼科学会専門医制度登録証（青・白色のカード）を必ずご持参ください。 —

～ プログラム ～

一般講演 I

16:20～17:50

座長 宮崎大学眼科 准教授 中馬 秀樹

- 1 「当院における抗 MOG 抗体陽性視神経炎の検討」
○和田英里香¹⁾、津村 諒²⁾、中馬秀樹¹⁾、池田康博¹⁾
—宮崎大学眼科¹⁾ — 広島大学病院眼科²⁾ —
- 2 「肺炎ワクチン接種後の発作性強直性眼球上転」
○菅井 洸、松元寛樹 — 県立日南病院 —
- 3 「県立宮崎病院眼科年次報告（仮）」
○林田 陽、新井千晶、石合理崇 — 県立宮崎病院 —
- 4 「von Hippel-Lindau 病の網膜血管腫に対して血管腫切除を施行した 1 例」
○林 俊平¹⁾、杉田直大²⁾、中馬秀樹¹⁾、池田康博¹⁾
—宮崎大学眼科¹⁾ おおつか杉田眼科²⁾ —
- 5 「物体認識アルゴリズムを用いた超音波検査診断支援システムの開発」
○日高貴子¹⁾、外山直樹²⁾、中馬秀樹¹⁾、池田康博¹⁾ — 宮崎大学眼科¹⁾ 宮田眼科病院²⁾ —
- 6 「内眼手術における脈絡膜外腔出血」
○上松健太郎、外山直樹、向坂俊裕、森 洋斉、宮田和典 — 宮田眼科病院 —
- 7 「術式別の術後眼内炎についての検討」
○外山直樹、上松健太郎、森 洋斉、岩崎琢也、子島良平、宮田和典 — 宮田眼科病院 —
- 8 「当院におけるプロルシズマブの使用経験」
○伊藤陽介 — 新城眼科医院 —
- 9 「『傍中心小窩黄斑円孔』とその傍眼」
○岡田守生 — 新城眼科医院 —

座長 宮崎大学眼科 教授 池田 康博

『症例から学ぶ遺伝性網膜疾患の診療のポイント』

弘前大学医学部眼科学教室 教授 上野 真治 先生

RPE65 遺伝子変異によるレーバー先天盲に対する遺伝子治療薬が日本でも認可され、近年遺伝性網膜疾患は注目を集めている。この遺伝子治療の対象となる患者は限られてはいるが、今後、他の原因遺伝子による網膜疾患にも遺伝子治療が行われる可能性もあり、患者からの相談なども増えることが予想される。そのため、我々眼科医は遺伝性網膜疾患に対する今まで以上に知識が求められる。本講演では、演者が今までに経験した遺伝性網膜疾患の症例をもとに診断に必要な画像検査やERGについて概説し、診療のポイントについて解説する。講演する疾患としては網膜色素変性に加えて、黄斑ジストロフィや眼底に異常がなく診断が難しい遺伝性網膜疾患等を予定している。